授 業 科 目 名	子ども家庭支援の心理学			教員名	原田 友毛子		
配 当 年 次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔子ども家庭支援の心理学〕					ナンバリング	2D302
授業内容を示すキーワード	生涯発達 家庭・家庭の理解 子育て家庭に関する現状と課題 子どもの精神保健とその課題						
授業の概要	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性や発達課題などについて学びます。家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係について発達的な観点から捉える視点を習得します。また、子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解しその知見を保育現場で活かせる力を身に付けます。子どもの精神保健とその課題について理解します。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <p>子どもやその家庭の支援に関する包括的な内容を理解し、子どもとその家庭支援について基本的な知識・技能を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1) 乳幼児期から高齢期までの生涯発達について理解し、概説できる。</p> <p>(2) 親子関係・家族関係を家庭ライフサイクル論や家庭システム論かの視点から学び、どのように支援したらよいかにつて理解できる。</p> <p>(3) 子育て家庭に関する現状と課題について個々の事例を通して学び、対応の基本的事項について説明できるようにする。</p> <p>(4) 子どもの精神保健とその課題について学び、子どもの心の健康について、自然災害などの防災の観点からも考える事ができる。</p>						
授業の方法等	<p>講義を中心として行いますが、各々の理論を保育者視点に立ってグループで討議する場面も設けます。毎回のレスポンスカードへの振り返りを各自が発表したりして授業内容の理解を深めることを目指します。前時の重要な内容については「プチ復習」という形で振り返りを行い学習の定着を図ることとします。視聴覚教材を活用し、事例検討も交えたアクティブラーニングの手法を取り入れ、グループワークやロールプレイ等を実施していきます。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>■定期試験〔筆記〕60%</p> <p>■授業への取り組み・態度 10%</p> <p>■提出物 30%</p>						
DPに掲げる学力の割合	DP1:30% DP2:20% DP3:20% DP4:20% DP5:0% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	「子ども家庭支援の心理学 改訂版」〔ISBN:978-4779306914〕原信夫、井上美鈴編著 北樹出版						
参考書	<p>「こども家庭支援の心理学」白川佳子・福丸由佳編 中央法規</p> <p>「こども家庭支援の心理学」本郷一夫・神谷哲司編著 建帛社</p>						
関連科目	保育の心理学 子どもの理解と援助 子ども家庭支援論 子どもの保健 保育・教育相談の理論と方法						
質問受付の方法	授業終了直後、または講師控室にて対応します。						
履修上の注意	配付した資料は丁寧に整理・保管してください。また、学ぶ事項は保育現場ですぐに役立つものばかりなので真摯に主体性を持って取り組むことを期待します。教科書を基に論を展開しますので毎回忘れずに持参します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	生涯発達とライフサイクル
	1 〈予習〉シラバスの熟読 90分 〈復習〉子ども家庭支援の心理学の全体構造について整理する 90分
	乳幼児期から学童期前期にかけての発達
	2 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉乳幼児期から学童期前期までの発達について教育相談でも扱った内容を整理しまとめる 90分
	学童期後期から青年期にかけての発達
	3 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉学童期後期から青年期までの発達について教育相談でも扱った内容を整理しまとめる 90分
	成人期から老年期にかけての発達
	4 〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉自分の家族などの体験談も交えてどのように生きるかについて思索する 90分
	家族・家庭の意義と機能
	5 〈予習〉自身の家族などと関連付けて教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉本時のねらいに即したニュースなどを自身の感想を交えて整理する 90分
	親子関係・家族関係の理解
	6 〈予習〉自身の家族などと関連付けて教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく 90分 〈復習〉本時のねらいに即したニュースなどを自身の感想を交えて整理する 90分
	子育ての経験と親としての育ち
	7 〈予習〉親になることについて思索し教科書を熟読し理解しておく 90分 〈復習〉親になること、あるいは親として、自分自身の考えをまとめる 90分
	子どもと家庭の状況
8 〈予習〉少子高齢化、世帯構造の変化などについて教科書に加えて検索しておく 90分 〈復習〉保育者の立場として自分自身がどう対応していくか考えをまとめる 90分	
ライフコースと仕事・子育て	
9 〈予習〉教科書を熟読しライフコースと仕事・子育てについて思索する 90分 〈復習〉ライフコースと仕事・子育てについて自身の感想をまとめる 90分	
多様な家庭とその理解	
10 〈予習〉ひとり親家庭の実態などを教科書やニュースなどから理解しておく 90分 〈復習〉多様な家庭への支援はどのようにすることが適切なのかをまとめる 90分	
特別な配慮を要する子どもと家庭	
11 〈予習〉特別な配慮を要する子どもとはどのような事か教科書を熟読する 90分 〈復習〉保育所としてどのような配慮が必要なのか整理する 90分	
なぜ子どもの精神保健を学ぶのか 子どもと生活・生育環境とその影響	
12 〈予習〉環境の力が及ぼす影響について教科書を熟読する 90分 〈復習〉配付資料やルーマニアの事例などから発達の可逆性について考えを整理する 90分	
子どもの心の健康にかかわる問題	
13 〈予習〉様々な障害や疾患などについて教科書を熟読する 90分 〈復習〉心の健康に関わる問題を抱えた子どもに対しての適切な保育について整理する 90分	
災害と子ども	
14 〈予習〉配付された資料を熟読する 90分 〈復習〉災害と精神的な健康にどのような関係があり、保育者としてどう関わるかまとめる 90分	
こども家庭支援の心理学のまとめをする	
15 〈予習〉配付された資料や教科書を再度読み込む 90分 〈復習〉子ども家庭支援の心理学についての知見をどの程度理解できたかノート整理をする 90分	
定 期 試 験	◆定期試験〔筆記〕 60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕 30分